

今さら? いやいや、今こそ!! Mercedes Benz W124

# 維持費を圧縮したいなら



取り外した純正部品は当然ながらベアハーパー製。中央部分に「TECHNOLOG」の文字が刻印されている。ベアハーパーのOEM品との違いは、この純正部品の有無以外見当たらない。

作業の詳細は下で紹介しているが、特に何が干渉するようなくともなく、走ってみたいも機能面では全く問題なし。そもそも付いていたカップリングは劣化していたようで、洗滌時の水温も5℃ほど低くなった。さて、スピードジャパンでの部品代で計算して、2163円の違いをどう考えるか。個人的な意見としては、安い方でも機能は十分。差額はちょっと豪華な昼メシ代にでもしたいですね。

|                             |         |          |
|-----------------------------|---------|----------|
| 純正部品 (BEHA製 品番103 200 0422) | 31,200円 | 純正との差額   |
| BEHA製 (純正同等OEMパーツ)          | 18,018円 | -13,182円 |
| SACHS製 (汎用OEMパーツ)           | 15,855円 | -15,345円 |

※純正定価はスピードジャパン調べによるものです。為替レートなどにより変更される場合があります。カード払いは手数料が必要になります。メール、FAXでのオーダー専用キャンペーン価格になります。

実際に装着テストをしてみたいというところで、本誌長期レポートカーの94年式E280Wゴンに取り付けることにした。外した純正部品は、中央のリング部分にメルセデス品番が入っているだけで、形状などはベアハーパー製OEM品と本当にそっくり。それならば、ということでザックスの方に交換してみた。

## ザックス製を装着したが機能的に問題は一切なし

## OEMのパーツ入手先



http://www.speedjapan.co.jp/ FAX: 0088-22-5551 TEL: 03-5548-4211 Shop Information ●取り扱いモデル:メルセデス・ベンツ/ボルシェ ●注文方法: Eメール/FAXフリーコール ●支払方法: 代引き/振り込み/カード (VISA、MASTER) ●発送方法: 佐川急便 ●標準到着時間: 翌日 (都部を除く本州内) ●営業時間: 10:00~19:00 (土曜日は午前中のみ) ●定休日: 日曜・祝日

今回のファンカップリングのように、純正OEM品と汎用OEM品とを、パーツの種類によっては選ぶことさえも可能な直輸入パーツショップ。これも取扱量の多さゆえに可能なことで、不良品に対する品質の管理も徹底している。インターネット上のオーナーズクラブの呼びかけで結成された部品商社なので、あくまでもユーザーサイドに立った姿勢。販売先が個人でも業者でも、価格が均一というのもそれゆえのことだ。本誌の関係者も、個人的な部品の調達も全てお願いしている驚きの安さ。純正部品でも国内ディーラーより30%近く安く入手が可能で、在庫にない場合もドイツから週に1回の航空便で仕入れてもらえる。需要の多い特定のパーツを数量限定でさらなる特別価格で販売する「マンスリーバークン」も実施しているの、こちらも要注目。

## カップリングは縦置き保管が原則です



その形状ゆえ、ついベタリと平置きしてしまいたくなるファンカップリング。しかし、これは縦置きで保管することが指定されている。立てた状態で取り付けられる部品なので、ある意味納得だが...。これを知らないパーツショップもあるので要注意だ。輸送時に縦にして梱包するか、取り付け前に縦にして、ある程度の時間を置いてから作動させる必要がある。

## ファンカップリングの交換には専用ツールが必要のため、作業はプロに任せるのが一般的

01 交換作業は、ファンシュラウドをバラすことから始める。シュラウドをラジエーターに固定している、左右合計2つのクリップを取り外す。

02 分割式のシュラウドのファン側を5度ほど回転させて、合計4つあるロックを外す。このロックがちゃんと入っていないことが多い!

03 ラジエーター側とファン回りのシュラウドが完全に分離したら、ファン側を押さえながらラジエーター側を上方向に抜き取る。

04 ラジエーター側を外してできたスペースから、ファンの回りのシュラウドを取り外す。ファンに引っかけてブレードを折らないように注意。

05 これがファンカップリングを外すための専用工具。使い方は次の写真で。ソケットタイプの純正工具では、ラジエーターに当たってしまい不便とか。

06 これは撮影のためブリーを外してもらった図。L字状の金具をブリー裏にある穴に差し込み固定して、中央のロックボルトを回転させるのだ。

07 今回も作業をお願いしたエスファクトリーの藤根メカニック。外す時もさることながら、締め込み時の力加減が難しいことながら、成せる業と言えるだろう。

08 中央部分のロックボルトが緩んだら、これを完全に取り外せばカップリングごとファンが外れる。緩めると、ブリーのベアリングがダメになることもしばしばあるとか。

09 中央のブリーにファンカップリングは取り付けられている。藤根さんによると、ブリーのベアリングがダメになることもしばしばあるとか。

10 カップリングとファンブレードは、3本のネジで固定されているだけ。コレを外して交換して、後は逆手順で組み付ければOKだ。



今回の作業で異音の原因が異音。ベルトのリップ部分が吹っ飛んでました。この取付の2日ほど前から、エンジンルームから「グゴン、グゴン」という、どうやらエンジン回転数に比例した異音が発生。自分なりにチェックしてはみたものの、ブリーにはガタはないし、おとなしく過剰な異音な症状を伝えつつ作業を進めてもらっていたら、発見しました!原因は、なんと、ベルトのリップ部分が約3センチほど吹っ飛んで、これでもとに戻さず回っている。なんと、なんて感じしている場合、合意ありませぬ。ソケットで交換してもらいました。異音の原因って、色々ですね。

### 作業協力 S-FACTORY エスファクトリー

メルセデスとBMWのディーラー出身メカニックがやっている専門工場。特にW124世代のメルセデスなど少し前のモデルは、現役時代の豊富な経験と知識を生かした得意分野。きっちり締め込みトルクを守った作業クオリティの高さは、やはりディーラーでの経験がベースにあることを感じる。だからといって、気難しい職人気質な人達ではないので、気軽に足を運んでみることをおすすめする。作業の受け付けは完全予約制だ。

●取り扱いモデル:メルセデス/BMW  
●住所:東京都江戸川区錦崎町7-11-5  
●電話:03-5636-5122  
●営業時間:10:00~18:00  
●定休日:日曜・祝日

# パーツ代を工夫しよう!

最近、日本でも知名度が上がってきた自動車OEMパーツ (OEM=Original Equipment Manufacturing)。一般的には、自動車メーカーに部品を納入している部品メーカーが、納品品と同等の品質の製品を自社ルートで流通させるものがOEM品とされている。一方、適合やクオリティに問題がなく使用できるものでも、自動車メーカーにOEMとして認定されていない社外パーツも存在する。社外パーツの中には粗悪なコピー品もあるので注意が必要だが、全てがダメではないということだ。

## OEMパーツと社外パーツの違いってなに?

ドイツ車に限らず、輸入車の修理代金で大半を占めるのがパーツ代。年数的にも色々な部分に手入れが必要になってきているW124を維持するためには、これをどうにかしないとお金がいくらあっても足りない。そこで安く信頼できるパーツ探しが必要だ。

趣味としてW124に乗っているユーザーなら、既にOEMパーツの存在は知っていると思う。全てがそうではないだろうが、今や愛車をディーラーに持って行って、良い思いをするのは少ないだろう。純正部品だのディーラー工場だのこだわりの年式ではないということだ。しかしここ最近、OEMという言葉が一人歩きしている感があるのも事実。OEM認定されていないパーツや、中には粗悪な東南アジア製のコピーパーツをOEMと言って売っている業者まで存在する始末だ。これは、ユーザーが正しい知識を持つのが最大の自衛策と言えるだろう。さらにOEM認定を受けているパーツの中にも、純正品と完全に同様な形状のもの、その他のモデルにも共用して使用できるような作られている汎用品が存在する。OEMパーツも色々なのだ。そこで今回、W124、E280の冷却ファンカップリングを例に、純正同等OEMのBEHR (ベアハーパー) の製品と、W140などにも共通で使用できる汎用OEM品を生産しているSACHS (ザックス) の製品の徹底比較してみたいと思う。どちらもOEMパーツであるが、メーカーの違いによってどのような差があるのだろうか? 価格とその内容によって、OEMパーツも比較して選べる時代になってきているのだ。安さだけを求めるのではなく、本当に価値のある、自分のニーズに合ったパーツを選ぶことが大切になってきているのだ。

## OEMという言葉よりも部品の機能を重視したい

### 研究テーマ/ファンカップリングについて

#### BEHR (ベアハーパー)

ラジエーターを中心に冷却系のパーツを供給するドイツの部品メーカー。工場をラインオフするメルセデスには、ほぼ100%ベアハーパー製のラジエーターが付いていると思ってい。OEMとして流通する自社製品の数も膨大なので、純正品と同様に対策も施されていて、W124用ラジエーターの場合は、アッパーホースの取り付け部分内側に金属製の補強リングが入れられたことが有名。

ROUNDA 01 冷却フィン対決!!

周囲/57枚 背面/40枚

なめらかな曲線に削られているベアハーパー製のフィン部分。柔らかいフォルムだ。

#### SACHS (ザックス)

現在は、ATなどで有名なZFのグループに入っているドイツの大手部品メーカー。メルセデスにはショックアブソーバー、マニュアルトランスミッション車用のクラッチなどを供給している。W124のOEMショックアブソーバーは、ほぼ全てザックス製ということになる。今回のファンカップリングは他のメルセデスに共用のタイプで124の専用品ではないが、OEM認定品。

ROUNDA 02 重量対決!!

周囲/57枚 背面/48枚

角の部分の面取り処理が、直線的で若干粗い感じのザックスのフィン。

#### 汎用OEMパーツ

ROUNDA 03 厚み対決!!

15.2mm

29.3mm

見た目のゴツさからは意外に、ベアハーパー製よりも25gほど軽かったザックス製。封入されるオイルの量などではなく、ケースの素材がやや軽量なものであるような印象がある。軽い方がフリクションは少ないような気がするが……。

見た目のゴツさからは意外に、ベアハーパー製よりも25gほど軽かったザックス製。封入されるオイルの量などではなく、ケースの素材がやや軽量なものであるような印象がある。軽い方がフリクションは少ないような気がするが……。